

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-264206
(P2002-264206A)

(43)公開日 平成14年9月18日(2002.9.18)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード*(参考)
B 2 9 C 55/02	Z B P	B 2 9 C 55/02	Z B P 3 E 0 8 6
B 6 5 D 65/02	B S F	B 6 5 D 65/02	B S F E 4 F 0 7 1
65/46	B R Q	65/46	B R Q 4 F 2 1 0
C 0 8 J 5/18	C F D	C 0 8 J 5/18	C F D
// B 2 9 K 67:00		B 2 9 K 67:00	
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 16 頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号 特願2001-63616(P2001-63616)

(22)出願日 平成13年3月7日(2001.3.7)

(71)出願人 000000033

旭化成株式会社

大阪府大阪市北区堂島浜1丁目2番6号

(72)発明者 櫻井 和明

神奈川県川崎市川崎区夜光1丁目3番1号

旭化成株式会社内

Fターム(参考) 3E086 AB01 AD05 AD06 AD07 AD13

BA15 BB01 BB22 BB41 BB85

BB90

4F071 AA43 AA43X AA87 AA89

BA01 BB06 BB08 BC01

4F210 AA24 AE01 AG01 QC07 QC01

(54)【発明の名称】 包装材用延伸成形体

(57)【要約】

【課題】 生分解性を有し、且つガスバリア性、耐熱性、透明性、機械的強度に優れ、容易に製造することが可能である、包装材用途に好適なグリコール酸系共重合体を主体とする熱可塑性樹脂よりなる延伸成形体を提供する。

【解決手段】 DSC測定において1回目の昇温過程での融点が175℃以上205℃以下、1回目の冷却過程での結晶化熱が0 J/g、2回目の昇温過程での融解熱が0 J/g以上20 J/g未満、且つ相対結晶化度が3%以上50%以下、対数粘度数が1.5 dl/g以上であるグリコール酸系共重合体を主体とする熱可塑性樹脂よりなり、100℃10分間における加熱収縮率が0.5~45%である包装材用延伸成形体。